

体外診断用医薬品 クロストリジウムディフィシルキット

# GEテスト イムノクロマト-CD GDH/TOX

簡単操作はそのままに！

**GDH**と**TOX**が一緒に検出できます！！



## 特長

糞便又は培養分離株中のクロストリジオイデス(クロストリジウム) ディフィシル:*Clostridioides (Clostridium) difficile*が産生する毒素(ToxinAおよびB)とグルタメートデヒドロゲナーゼ(GDH)が検出可能なイムノクロマト法による迅速診断用キットです。

■ 判定時間は20分。

■ 試薬はわずか1種類。入れ忘れる心配がありません。

## 包装内容

- ① テストプレート . . . . . 20テスト
- ② 検体希釈液 . . . . . 20本 (10本×2袋)
- ③ 試料ろ過フィルター . . . . . 20個 (10個×2袋)
- ④ 綿棒(糞便採取用) . . . . . 20本 (5本×4袋)
- ⑤ スタンド . . . . . 2個

※本検査で他に資材は必要ありません。



品名	製品コード	包装	貯法・使用期限
GEテスト イムノクロマト-CD GDH/TOX	07853	20回用	2~8℃保存・禁凍結 製造後18ヵ月間

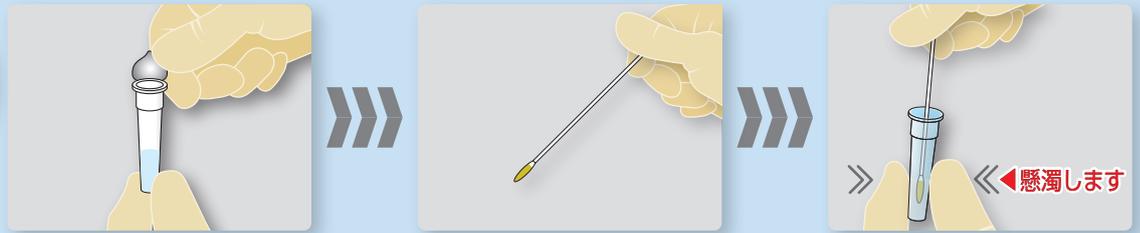
価格表は  
こちらから



## 操作方法

テストプレートを入れたまま室内温度（15～30℃）に戻し、使用直前に取り出します。検体希釈液チューブのアルミシールをはがし、キット付属の綿棒で採取した検体（糞便又は培養分離株）を入れ懸濁します。

### STEP1 試料 調製



調製した試料溶液（チューブ）に試料ろ過フィルターを装着し、テストプレートに**3滴**滴下します。

### STEP2 試料 滴下



簡単操作で  
試薬の入れ忘れ  
なし!!

試料溶液滴下の**20分後**、速やかに判定部に現れる**赤紫色のライン**を目視判定します。

### STEP3 迅速 判定



## 使用上の注意

- 試薬はすべて、2～8℃保存・禁凍結として下さい。
- 適切な抗原抗体反応を行わせる為、テストプレートと検体希釈液は検査前に室内温度（15～30℃）に戻してからご使用下さい。
- 診断には、**臨床症状や他の検査結果と合わせて総合的に判断するようにして下さい。**
- 反応ラインの濃淡でクロストリジオイデスディフィシル抗原、毒素の定量性を判断することはできません。

## 関連製品

	品名	製品コード	包装	貯法・使用期限
分離培養 (嫌気培養)	アキュレート™ CCMA培地EX	51034	10枚	4～10℃に保存(禁凍結) 製造後3カ月間
		50035	100枚	

価格表は  
こちらから



製造販売元

島津ダイアグノスティクス 株式会社

お問い合わせ先：カスタマーサポート 担当

TEL：03(5846)5707

E-mail：support@sdcs.shimadzu.co.jp

URL：https://corp.sdc.shimadzu.co.jp/

臨床診断薬分野 医療関係者向けサイト

<https://clinical-diagnostics.biz.sdc.shimadzu.co.jp/>



(YM2409)